



中山道69次を歩く(8)

醒井宿から大津宿まで

第21回は4月21日。柏原駅に集めて自刃した北条仲時以下400余名の供養墓碑が所狭しと並ぶ。合して醒井宿へ向かう。1カ月前は雪、今回は桜が満開、のどかな歩き旅である。

一里塚跡を二つ過ぎ、鶯が淵の先が醒井宿。宿場入口の居醒の清水は、伊吹山の太蛇退治に行き、正気を失った日本武尊が、この清水を飲んで覚醒した故事による。醒井宿を出て、久禮の一里塚を過ぎ、上り道を歩くと番場宿。宿場の中ほどの蓮華寺には、この地



大津宿の義仲寺

次の高宮宿は多賀大社の門前町としてにぎわい、高宮上布の集散地であり、本庄宿に次ぐ中山道第2の大宿であった。この後、国宝・彦根城を見学。

第22回は6月2日、愛知川宿へ向かって歩く。旧・豊郷小学校は、立派な白亜の建物。昭和初期に伊藤忠兵衛商店専務が米国人建築家に設計させ寄贈した。伊藤長兵衛創設の豊郷病院、近江商人屋敷などは立派に残るが、本陣、脇本陣は跡かたもない。

五個荘を過ぎたところに、

天秤をかついだ近江商人像が置かれ、ここまでが「てんびんの里」といわれる近江商人輩出地とのこと。

織田信長が造営させた奥石神社(国重文)のすぐ先から武佐宿の街並みに入る。宿場通りは旧家が残り、本陣門・屋敷は健在。残念なのは、ただ一つ残って営業していた旧旅館が漏電による火事で全焼し、泊れなかったこと。

近江八幡で泊り、翌日、源義経元服の地、鏡神社に参拝。少し歩くと、平宗盛終焉の地。石仏の前には枯れた花、供物などが散乱していて哀れ。

旧道左手の丘陵地帯は史跡大岩山古墳群。野洲川橋を渡るとようやく守山宿。本陣などは碑のみであるが、宿場らしい街並みは残っている。守山宿の加宿として栄えた今宿の一里塚まで歩いた。

第23回は10月13日、今宿一里塚の少し先にある大宝神社からスタート。天気が良いので久しぶりの中山道歩きはきつい。草津駅前を通り、草津川(天井川)の下を抜けると、草津追分道標が見えた。東海道との合流地である。草津宿本陣は五街道の本陣の中で最大級の規模。街道交流館で「中山道踏破証」を発行してもらい感無量であった。

瀬田駅近くのホテルで泊り、翌日、大津宿を目指す。瀬田の唐橋を渡り、大津市内に入る。石山駅を過ぎたところが、粟津ヶ原。木曾義仲の重臣、今井兼平の墓に立ち寄った。

前を通り、国道に突き当たった所が、かつて高札場が置かれていた「札の辻」。次回はここから京都を清水計枝(64期)目指す。

大津市内は城下町のため、道が崩れ、かき形に何度も曲がる。膳所城跡に寄り、義仲寺へ。木曾義仲墓所、

51年前の入学書類 同窓会入金納入依頼など

身辺整理をしようと思い、古いダンボール箱を開けると2通の封筒が出てきました。差出人は長野県・上田高等学校と長野県上田高等学校生徒会購買部。一つは保護者宛ての入学許可予定者通知と生徒会入会金、PTA施設拡充費、同窓会入会金の納入依頼。もう一つは新入生宛ての洋服、コート、学生帽子、革靴、腕時計などの購入勧誘でした(かいづや、多喜屋洋品店、矢島時計眼鏡店、日昇堂製帽店などの商店名)。しばし50年前にタイム・スリップしてしまいい、整理は一向に進みませんでした。

写真は書類の一部で「教科書の定価表」(高等学校国語163円、高校社会140円、高等学校数学1代数98円、英語HIGH ROAD to E.R.48円など)

小山平六(62期)

昭和36年度 上田高校教科書定価表
(全日制 第一学年用)

発行所	書名	冊数	定価
高川	国語教科書	1	163
	国語 古語	1	48
	国語 漢文	1	53
	国語 社会	1	140
	数学 高等学校数学I 代数	1	98
	英語	1	108
	社会 地理	1	175
	音楽 音楽基礎	1	70
	美術 美術	1	35
	音楽 音楽	1	138
	国語 国語	1	264
	デザイン	1	99
	国語 国語	1-3	115
	国語 HIGHROAD to E.R.	1	48
	国語 New STANDARD E	1	53
	国語 The UHIGH R	1	50
	国語 How To Use BETTER E	1	45

教科書販売店
株式会社 西澤書店
上田中野町 TEL.24